

# Cisco 4500 と 4700 シリーズ ルータの ROMmon リカバリ

## 内容

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[フラッシュでの有効なイメージの検索](#)

[ブート イメージと Trivial File Transfer Protocol \( TFTP \) サーバを使用したダウンロード](#)

[関連情報](#)

## 概要

このページでは、4500 および 4700 シリーズ ルータが ROMmon (rommon# >プロンプト) にスタックした際の、回復手順を説明します。

## [はじめに](#)

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

### [前提条件](#)

このドキュメントに関しては個別の前提条件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のハードウェアバージョンに基づいています。

- Cisco 4500 および 4700 シリーズ ルータ

このマニュアルの情報は、特定のラボ環境に置かれたデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。実稼動中のネットワークで作業をしている場合、実際にコマンドを使用する前に、その潜在的な影響について理解しておく必要があります。

## [フラッシュでの有効なイメージの検索](#)

次に示す手順に従ってください。

1. まず最初に、devコマンドをどのデバイスがルータ上で利用可能であるかを確認してください:

```
rommon 1 > dev
Devices in device table:
      id  name
flash:  flash
bootflash:  boot flash
eprom:  eprom
rommon 2 >
```

2. 3750 フラッシュ ファイル システムを表示するには、**dir flash:**コマンドを発行し、有効な Cisco IOS®ソフトウェアイメージを探します。

```
rommon 3 > dir flash:
      File size           Checksum   File name
8052512 bytes (0x7adf20)  0xc7b6    c4500-js-mz.121-6
rommon 4 >
```

**dir bootflash:**コマンドを使用して、ブートフラッシュに有効なブートイメージがないか確認することもできます。

3. そのイメージからのブートを試みます。そのファイルが有効ならば、正常動作モードに戻ります。

```
rommon 5 > boot flash:c4500-js-mz.121-6
program load complete, entry point: 0x80008000, size: 0x7ade04
Self decompressing the image : #####
#####
####...
```

4. flash上に有効なファイルが無かった場合には、システムイメージをダウンロードし直す必要があります。主要なCisco IOSソフトウェアが削除された、あるいは破損した Cisco 4500 および 4700シリーズ・ルータでイメージをインストールする方法が一つだけあります:ルータのブートイメージを使用して下さい。

## [ブート イメージと Trivial File Transfer Protocol \( TFTP \) サーバを使用したダウンロード](#)

この手順の詳細については、「[ブートイメージでTFTPを使用してROMmonからアップグレードする方法](#)」を参照してください。

メイン イメージおよびブート イメージの両方が壊れている、あるいは削除されている場合には、システムを回復する簡単な方法はありません。RMA 処理を行う以外には、有効なブート イメージおよびメインのCisco IOS Software がインストールされている他の4500 あるいは、4700 ルータからフラッシュ SIMM 取り外して交換するという方法しかありません。

## [関連情報](#)

- [4000シリーズルータに関するサポートページ](#)
- [Cisco IOSテクニカルサポートページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)